

1 開催日

令和7年12月1日（月）から令和7年12月5日（金）

2 審査事項

- (1) 地方大学・地域産業創生交付金事業進捗に係る自己評価について
- (2) K P I の達成状況について

3 委員一覧

所属・役職	氏 名
日本大学工学部教授	加藤 隆二
経済産業省東北経済産業局地域経済部次長	油川 一義
日本政策投資銀行東北支店次長	石島 繁裕
一般社団法人水素バリューチェーン推進協議会（JH2A）担当部長	葛原 幾多郎

4 開催形式

書面開催

5 評価結果

(1) 地方大学・地域産業創生交付金事業進捗に係る自己評価について

本県及び福島大学の自己評価について、委員2名から「妥当である」、委員2名から「概ね妥当である」と評価された。

(2) K P I の達成状況について

K P I の達成業況について、委員2名から「計画どおり進んでいる」、委員2名から「概ね計画どおり進んでいる」と評価された。

(3) 意見・助言等

委員より以下の意見を頂いたため、今後の事業執行に頂いた意見を反映させていく。

- ・ 「持続可能な高度専門人材育成・大学改革」において、U E Aの採用が遅れていることは不安材料と思われた。研究開発を進めるのに何よりも重要なのは人材確保であり、関係各位の尽力を期待する。
- ・ 次回から、研究内容/進捗状況のさらに詳細が記載された報告資料をいただきたい。自身長くR & Dに携わっており、これまでの経験等を活用して何らかの助力が出来ればと思っている。
- ・ 事業進捗の自己評価が「順調」「概ね順調」という状況に比して、K P Iは未達の項目も目立つ。事務局より要因などの説明を受けたため、現時点で大きな懸念をもっているものではないが、目標年次までにK P Iを達成していくため、着実な事業進捗マネジメントが期待されると考えている。来年以降のモニタリングにおいて然りとした確認が求められる。
- ・ 初年度のスタートは順調に進んでいると思われる。2年目は本格的な体制作りが重要な仕事となり、その体制が今後の研究開発の成果を決めることとなると思われる。これからの発展を期待している。

以上